

第10回 理事会

日 時：平成31年1月15日(火)

15：00～16：00(過半数の理事が出席した時間帯)

14：00～15：00および16：00～17：30(出席者が過半数に満たなかった時間帯)

場 所：本学会会議室

出席者：協坂会長(議長)、向山副会長、清水常務理事、伊藤、大谷、小俣、北田、黒木、小松原、鈴木、中曾根、原、船山 各理事
中嶋監事
(理事24名中13名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

欠席者：木方、稲垣、太田、大沼、奥村、長田、金、高橋、遠田、和田 各理事
野村監事

議事内容：

1. 前回議事録の確認(15：00～16：00)
 - ・平成30年12月17日開催の第9回理事会の議事録を承認した。
2. 審議事項(15：00～16：00)
 - 1) 会員状況及び新入会員の承認
 - ・事務局長から会員状況の説明があり、正会員、学生会員の入会者はなく、4名が退会したことが報告された。3月末での退会予定者は12名となっている。
 - ・1月10日時点で、正会員、学生会員、名誉会員の合計が1,949名であることを確認した。
 - 2) 2019年度予算案について
 - ・事務局長から2019年度予算案が説明された。
 - ・前年度予算との変更点は下記の通り。
 - ・学術集會事業収益が1,500千円の減額(前年度は記念事業のあったため)。
 - ・事業費支出において会議費が900千円の減(同上)
 - ・基本的に例年同様の予算構成であり、収支において若干の黒字を予定している。予算案については、今後の月次決算の動向を見て細部の修正・調整を行うこととし、次回理事会で審議することとした。
 - 3) 旅費規程について
 - ・常務理事から「旅費規程案」に関する委員会、研究部会、支部からの意見照会結果が報告された。編集委員会、国際委員会、地下水研究部会、九州支部から回答が寄せられた。
 - ・2部署から出された指摘事項は、第2条において会員、非会員の区別を明文化するかどうかという点であり、協議の結果、アンケートやヒアリングによって収集した各支部や委員会・部会の旅費等の支給実態を考慮し、ある程度弾力的な運用を可能とするための表現とするとの考えを踏まえ、原案通りとする

こととした。

- ・第5条(交通費)については、「最も経済的な経路」が方法なのか、旅程なのか、がわかり難いため、総務委員会で再度検討し、次回理事会で審議することとした。
- 4) 個人情報取扱規程及びプライバシーポリシーについて
 - ・常務理事から、前回理事会において指摘された「個人情報取扱規程及びプライバシーポリシー」の運用において必要となる書式類の記載例が説明された。
 - ・「個人データ取扱台帳」については、個人データの取扱を始める日付、データ廃棄の日付等の記載欄がなく時系列での確認ができないため、総務委員会で再度検討し、次回理事会で審議することとした。
 - 5) 事務局長の契約更新について
 - ・常務理事(総務委員長)から、「事務局長の契約更新について」が説明された。次期の更新を行うことを承認した。
 - 6) 規則の改定(国際会費改定)について
 - ・清水常務理事から、国際会費改定に伴う「規則の改定について」が説明された。第8回理事会での会費改定を受けての措置である。内容を承認した。
 - 7) 特別号印刷費について
 - ・事務局長から会誌「応用地質」第59巻第5号の出版にあたり、60周年記念事業関連記事のページ数が予定を大きく超過したことから、全体のページ数に対し、通常号と特別号のページ数を按分し、60周年記念事業関連部分の超過ページ数について、記念事業積立金から補填(充当)したいとの案が出された。
 - ・補填について承認し、実際の不足額である297,072円を充当することとした。
 3. 確認事項
 - 1) 収支状況(14：00～15：00)
 - ・事務局長から平成30年度12月期の本部収支が説明された。会費の納入が進み収入は好転してきたが、未納者がまだ多い。
 - ・細目での費用超過等はあるが軽微であり、現予算に比べて大きな変動はなく、現時点では大きな変更等は発生していない。
 - 2) 研究発表会論文集プログラムのミス及び論文の落丁の対応について(16：00～17：30)
 - ・担当理事から、今年度開催した研究発表会において発生した「論文集プログラムのミス及び論文の落丁の対応について」が説明された。印刷間際で生じた口頭発表とポスター発表の入れ替えに際して、ポスター発表の3件が論文集から欠落した事案である。
 - ・以下の対応をとることが報告された。

- ・プログラムを修正し、修正版プログラムと漏れ3編の論文(PDF)とも、HPの研究発表会のコーナーにお詫び文とともに掲載する。
 - ・プログラムの再掲、漏れ論文の掲載について、HP「お知らせ」欄に掲載する。
 - ・プログラムの再掲、漏れ論文のHPへの掲載について、NLで発信し、2月号の会告でお知らせする。
 - ・国会図書館へ納本のための補遺を作成し、論文集と一緒に納入する。
4. 本部からの報告事項
- 1) 他学協会からの依頼(14:00~15:00)
- ・日本地震工学会から「第6回ESG国際シンポジウム」の後援依頼があり、総務委員会で承認したことが報告された。
 - ・寒地土木研究所から「発表論文のウェブページ掲載について」の依頼があり、総務委員会で承認したことが報告された。
 - ・物理探査学会から「平成30年度ワンデーセミナー後援のお願い」があり、総務委員会で承認したことが報告された。
- 2) 学会名を冠する対外活動(16:00~17:30)
- ・担当理事から、現場研修会のための現地視察を行うに際して、中日本高速道路(株)の現場事務所に提出する依頼書の説明があった。表題、依頼文の一部を修正することとした。
- 3) トラブル等の再発防止に向けた仕組みについて(方針の確認)(14:00~15:00)
- ・次回以降の審議事項として扱うこととした。
- 4) 防災学術連携体関連(14:00~15:00)
- ・常務理事から、3月12日開催の「平成30年夏に複合的に連続発生した事前災害と学会調査報告」において、稲垣理事が「西日本豪雨災害における災害発生状況の応用地質学的考察」と題して口頭発表することが報告された。
- 5) JpGU関連(14:00~15:00)
- ・常務理事から、地球惑星科学連合2019大会の論文投稿の受付に関する報告があった。MLで会員に広報する予定である。
- 6) 継続審議事項の今後の予定について(14:00~15:00)
- ・常務理事から、現時点までの間で理事会において継続審議事項となっている7項目について説明があった。
- 7) 行事開催時の災害対応について(14:00~15:00)
- ・副会長から、総会、研究発表会等の行事開催中に、自然災害等の被災があった場合、あるいは被災が予想された場合の学会としての運営上の対応(内容、方法、事後の処置)を決めておく必要があるとの意見があった。
5. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項
- ・以下の委員会、支部、研究部会、特別委員会から資料の提出または報告があった。
- 1) 編集委員会(14:00~15:00)
- ・副会長から、学会誌「応用地質」の2019年度の研究部会だより、支部だよりの割り当てが決定したことが報告された。
- 2) 事業企画委員会(16:00~17:30)
- ・1月9日開催の事業企画委員会の議事内容が提出された。
- 3) 国際委員会(14:00~15:00)
- ・伊藤理事から、1月7日開催の国際委員会の議事内容が報告された。次回アジアシンポジウムの投稿受付が始まったので、会員に投稿を呼び掛けていただきたい。
- 4) 北海道支部(14:00~15:00)
- ・活動実績、活動予定が提出された。2月1日に技術講習会を予定している。
6. その他
- 1) 将来構想委員会準備会について(16:00~17:30)
- ・議事次第では審議事項であったが、過半数理事出席時間帯では審議ができなかったため、内容を議事録としないことを前提に自由討議を行った。